

エアゾール (キューバル)



製品名
キューバル

分類
吸入ステロイド
(ICS)

チェック項目 (ピットフォール)

吸入前

- 最初の使用時や使用間隔が一定期間空いた時に、
試し射ちをしていない
- 試し射ちの操作を、
日常の吸入の際に誤って行っている
- 吸入前にポンペを振っていない
- デバイスを正しく安定して支持できていない
- 吸入前に薬剤残量カウンターを確認していない
- 吸入前に息を吐いていない

吸入時

- ポンペの底を指の力で押せない
- 薬剤噴射時に、呼吸同調が出来ていない
- 薬剤をゆっくり深く吸入できていない
- 薬剤噴射方法が不安定である
- 吸入時に吸入口を隙間なく覆っていない。
(クローズドマウス法の場合)
- 吸入直後の息止めをしていない

吸入後

- 吸入後のうがいをしていない

- いずれの問題点も発見できなかった

キューバル 残量計

- ① 残量計を水平で清潔な所に置きます。
 - ② つり合うときの容器の位置で、お薬のおよその残量がわかります。
- 【注】 キューバルは、1缶で約100回噴霧できます。



エアゾール (キューバル)

喘息治療を受けられる患者さんへ キューバルの正しい吸入方法

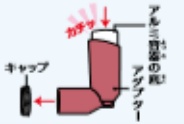
監修：宮川医院 院長 宮川 武彦

本剤は気道の炎症を治療する吸入薬です。医師の指示通り毎日定期的を使用して下さい。

キューバルを正しく効果的に吸入するには2つの方法があります。


準備

- アダプターにアルミ容器が正しく装着されている事を必ず確認して下さい。
- 吸入口に付いている灰色のキャップはあらかじめ外します。
- アルミ容器の底が上になる様に持ちます。
- 新しく受け取ったものを初めて使う場合には、薬が正しく出ることを確かめるため、試し噴霧を2回行って下さい。



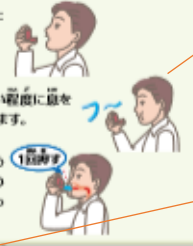
1. クローズマウス法 (直接、口にくわえて吸入する方法)

- アダプターの吸入口を唇の裏で軽くくわえ、フチビルでしっかり包んで下さい。
- 苦しくならない程度に息を十分吐き出します。
- 吸いて、息を吸い込み始めると同時にアルミ容器の底を1回押し、薬をゆっくり吸入して下さい。

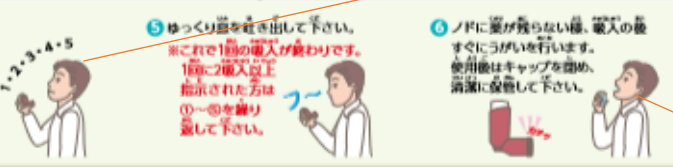


2. オープンマウス法 (口から離して吸入する方法)

- 口から3〜4センチ離れた状態で構えます。
- 苦しくならない程度に息を十分吐き出します。
- 吸いて、息を吸い込み始めると同時にアルミ容器の底を1回押し、薬をゆっくり吸入して下さい。



- そのまま口を開け、ゆっくり5秒息を吐き止めます。
- ゆっくり息を吐き出して下さい。
※これで1回の吸入が終わりです。
1回につき2〜3回以上吸入された方は①〜④を繰り返し行って下さい。
- ノドに薬が残らない様、吸入の後もすぐにうがいをします。使用後はキャップを閉め、清潔に保管して下さい。

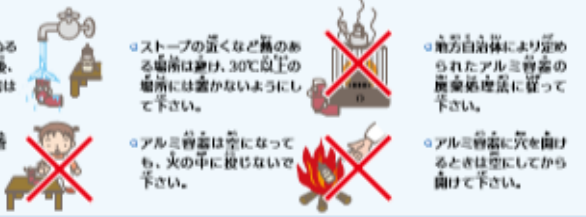


1回 吸入 1日 4回

注：乳幼児など、うがいのできない場合は、口をすすぐ(または水を飲む)ように保護者の方が指導して下さい。

保管上の注意

- アダプターは少なくとも1回水かめる状態で十分に洗浄し、乾燥させた後、清潔に保管して下さい。アルミ容器は壊さないで下さい。
- 幼少児の手の届かないところに保管して下さい。
- ストーブの近くなど熱のある場所には置かず、30℃以上の場所には置かないようにして下さい。
- アルミ容器は空になっても、火の平に投じないで下さい。
- 地方自治体により定められたアルミ容器の廃棄処理場に持って下さい。
- アルミ容器に穴を開けるときは空にしてから開けて下さい。



うまく吸入出来ない場合は、吸入補助器具を使う方法もあります。詳しくは医師または薬剤師にご相談下さい。

カウンターの無いものは、メーカー資材 (シール等) を利用して確認します

主薬と噴霧ガスを均一にするため、噴霧前に容器を十分に振る必要があります。患者の混乱を防ぐためにも、振る必要のない薬剤も降ると指導します

息吐きをしないと吸入が十分にできません。十分に息吐きができていないか確認します

肺内への薬剤の沈着率を高めるため、息止めが必要です。ただし無理をさせないこと

キャップをする前に、吸入口を拭くように指導します。

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嚙声などの副作用を防止するため吸入後すぐにうがいをします。それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいを行うように説明します。